

元プロ選手 広島の鈴木さん、今季「兵庫」指揮



「兵庫での経験を生かしたい」と段原クラブの選手の指導に熱が入る鈴木監督（左端）

軟式の段原少年野球クラブ（広島市南区）の監督を務める鈴木伸良さん（58）が今季から、関西の独立リーグ、ベイスポーツファーストリーグ（BFL）の兵庫を指揮する。少年野球指導者の監督就任は異例。段原クラブの中学生の指導を続けながら、本拠地の兵庫県三田市に通う生活をスタートさせた。

鈴木さんは浜松市出身の元プロ野球選手。巨人、南海、阪神で計10年間プレーし、投手、捕手、内野手、外野手とほぼ全てのポジションを経験した。引退後は妻雅子さん（57）の故郷の広島に移り住み、スポーツ用品店を営みながら、約30年間小中学生の指導に携わってきた。

「心と体を壊さない指導」

少年野球から独立し監督

二足のわらじ「心と体を壊さない指導」

がモットー。スパルタ練習や根性論を嫌い、チームとしての勝利よりも、個々の能力を伸ばすことに情熱を注いできた。兵庫の高下沢球団代表（33）は教え子の一人。「プロ野球OBであり、プロや社会人野球を目指す若者の指導に適任」との理由で、1月中旬に監督就任のオファーを受けた。小中学生の指導を理由に一度は断ったが、相手の熱意に「自分の経験が必要とされてうれしかった」と受け入れた。

兵庫は17、25歳の約30選手が在籍する。監督に就任した1日から、月曜から金曜までの平日は片道2時間半かけて兵庫の練習に向く。週末は段原クラブの監督業をこなす。「高いレベルに触れ、自分も指導者として成長したい」。二足のわらじで、4月の開幕を目指す。

（和泉恵太、写真も）